



もくじ

漫画「和菓子ってなに？」…………… 1

「であいもん」作品紹介…………… 5

声優結木梢さんインタビュー…………… 6

和菓子のはじまりと発展…………… 8

和菓子にこめられた心…………… 10

茶道と菓子…………… 12

茶席菓子の世界…………… 16

和菓子と年中行事…………… 18

和菓子職人さんに聞いてみよう…………… 20

京都をつなぐ無形文化遺産…………… 22



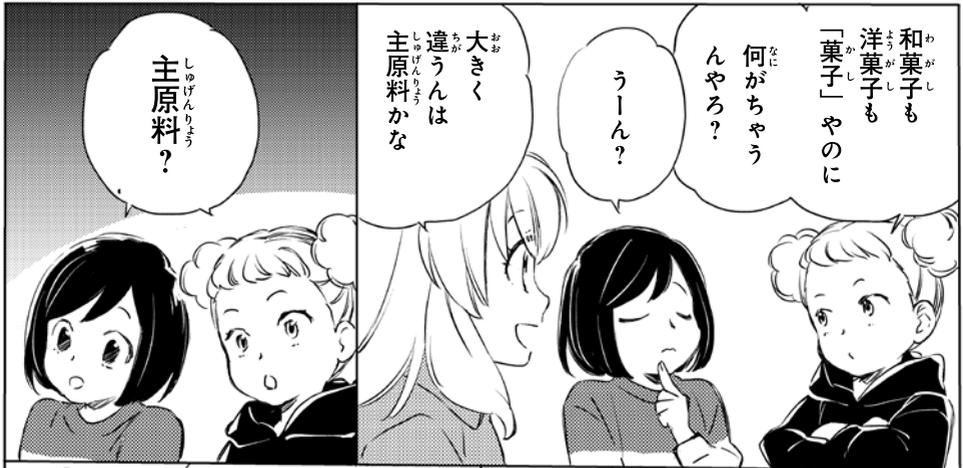
和菓子も  
洋菓子も  
「菓子」やのに

何がちゃう  
んやろ？

うーん？

大きく  
違うんは  
主原料かな

主原料？



洋菓子は  
卵や牛乳  
といった

「動物性」を  
主に使ってて

和菓子は  
米粉や小豆  
といった  
「植物性」が  
主に使われ  
てんねん



お団子なら  
米粉から  
作られた

「白玉粉」  
「上新粉」

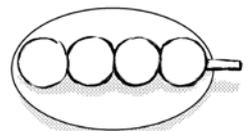
餡子なら

「大納言小豆」

「白小豆」  
「いんげん豆」

他にも  
寒天や  
葛粉  
山芋…

その他にも  
色々



それに和菓子は  
日本人の生活に  
すごく関係してて

例えば  
ひな祭りには  
「ひし餅」  
「引千切」

子供の日には  
「柏餅」  
「粽」

これは  
「五節句」  
といって

1月7日の「人日の節句」  
3月3日の「上巳の節句」  
5月5日の「端午の節句」  
7月7日の「七夕の節句」  
9月9日の「重陽の節句」

上巳の節句が  
ひな祭り  
端午の節句が  
子供の日ね



あッ  
知ってる

食べる  
食べる



季節の変わり目に  
無病息災や  
豊作を願って  
厄祓いやお供えを  
する日なん

季節を表現  
してるのも  
沢山あるよ



和菓子は  
地域によって  
様々で

京都では  
道明寺粉を  
使った桜餅が  
作られてて

お月見には  
里芋の形を  
模した  
月見団子とか

名前が一緒でも  
形が違うんや

6月30日には  
暑気祓いで  
いただく  
「水無月」も  
京都で主に  
作られてるよ

6月30日には  
暑気祓いで  
いただく  
「水無月」も  
京都で主に  
作られてるよ





ゆっくり歩いて行こう。

## 京都を舞台に

「人と人を和菓子で繋ぐ」心温まる絆の物語



夢を追って上京するも、父の入院を知らされ実家の和菓子屋・緑松を継ぐことを決めた納野和。  
 しかし店には跡継ぎ候補で看板娘の少女・雪平一果が、納野家に居候をしながら働いていた。  
 和は一果の親代わりを任せられるも、一度は跡継ぎを断つたことを理由に冷たい態度をとる彼女と働くうちに、ある一面を知ることになる。





京都のまちにたたずむ和菓子屋・緑松を舞台に、和菓子を通して季節の移り変わりや人と人との絆が感じられる漫画「であいもん」。京都で生まれ育った、漫画家の浅野りんさんの作品です。そのテレビアニメで小学5年生のヒロイン雪平一果を熱演した、声優の結木梢さんに、京都や和菓子についてお話を聞きました。

京都の和菓子屋を舞台にしたアニメ「であいもん」

「京菓子の奥深い文化や京都の

人のぬくもりをとっても感じました」



©RIN ASANO / 緑松

—雪平一果役に決まったときの気持ちと、演じるときに意識したことを教えてください。

**結木** オーディションを受けて主役に決まったのは初めてなんです。電話で「合格した」と聞いたときは、感激と喜びで大泣きしてしまいました。くじけないで、ずっとがんばってきてよかったと思います。

—和菓子は好きでしたか？そのなかでも特に好きな和菓子は？

**結木** はい、大好きです。家の近くから和菓子屋さんがあり、子どもの頃からよく食べていたので。シンプルですが奥行きがあって、上品な甘さもいいですね。なかでも「こなし」や「煉切り」が好き。素材は年中同じでも、色や形で季節を表現しているところが好きです。日本には季節ごとにいろいろな行事があって、端午の節句に柏餅、春のお花見は桜餅、夏には水饅頭とい

演じるときは、つくりすぎない、自然な子どもらしさを心がけています。

でも、緑松にあずけられた背景が複雑で、普通の10歳よりは少し大人びたところもあり、それがわざとらしくならないように気を付けています。

—結木さんにとって京都はどんなまちでしょう。

**結木** 旅行で何度か訪れ、歴史あるたうように、和菓子と季節行事が深くつながっています。和菓子ひとつで、季節を感じられるところがすばらしいです。

特に京菓子は、込められた思いを一段と強く感じます。ひとつひとつが繊細で、表現が芸術のように味わい深いんです。まさに「伝統文化」を感じました。今まではただ「おいしい、かわいい」という感じでしたが、作品を通して京菓子の触れたことで、見た目はもちろんですが、込められた思いや意味、由来を知って、もっと好きになりました。「このお菓子にはどんな思いが込められている？何を表現している？」と考えながらいただく、楽しいですね。

—和菓子作りにも挑戦してみましたね。

**結木** はい。材料を同じサイズにぎり分けていくのが難しく、餡子を包んでも横から

はみ出たり、簡単そうに見えてとても技術がいるんだと感じました。和菓子職人さんは、量らなくても1gの誤差もなくピタリ同じ大きさにちぎれるんです。しかもすごく速く、形を作るときも正確できれい。長年やってきた人にしかできない技に感動し、「魔法の手」だと思いました。

でも、自分で苦労して作った和菓子はとてもかわいくて、よりおいしく感じましたね。

—「であいもん」を通して伝えたいことは？

**結木** 和菓子は京都の人にとっては日常の一部ですが、そこに込められた意味や由来を知ると、もっと身近に感じられると思います。京都のはんなりした風景のなかに、やさしいぬくもりがぎゅっと詰まったお話を見ていただくことで、私の京都大好き、和菓子大好きな気持ち伝わり、行く先々でもらった心のあたたかさが伝わったらとてもうれしいです。

結木 梢 | Kozue Yuuki

5月26日生まれ リマックス所属  
主な出演作『レゴフレンズ』(リス役)、『魔法科高校の優等生』(平川小春役) ほか

